

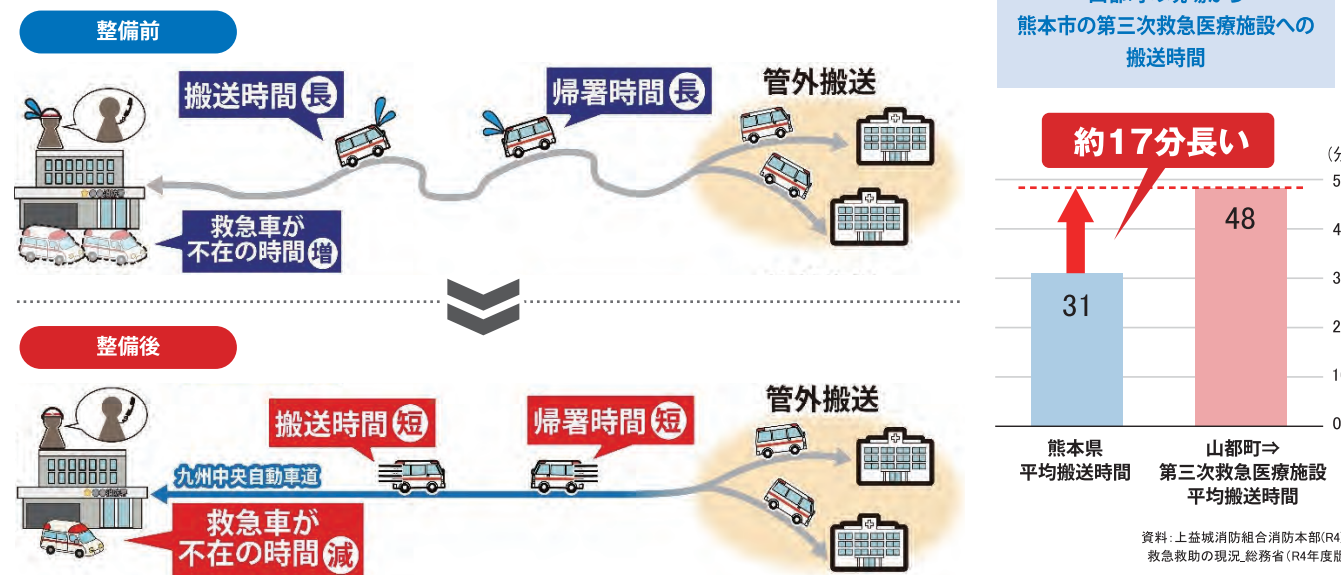
開通による主な整備効果

救急医療支援 第三次救急医療施設等への円滑な救急搬送を支援

山都町内から熊本市内の第三次救急医療施設への搬送時間は熊本県平均搬送時間に比べて約17分長く、患者への負担が大きいことに加え、消防署内の救急車の不在時間が長いことも課題となっています。

今回の開通により、熊本市内の病院への搬送時間の短縮や、走行性向上による患者負担の軽減が図られるとともに、消防署への帰署時間が短縮することで円滑な救急搬送を支援します。

■搬送時間短縮による救急体制の充実(救急車の不在時間の減少)

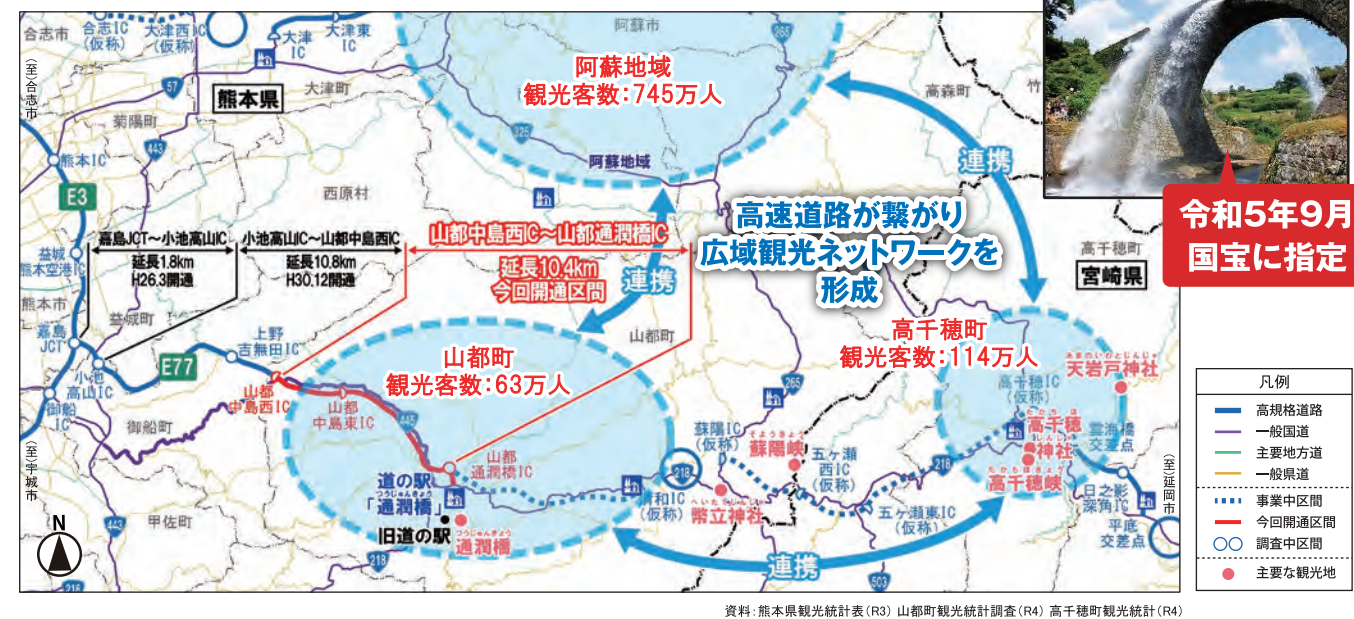


観光活性化 観光振興を支援する広域観光ネットワークの形成

山都町は令和5年9月に国宝指定された通潤橋をはじめ、幣立神宮、蘇陽峡などの観光資源を有しており、周辺地域には阿蘇地域や宮崎県の高千穂町など九州有数の観光地が存在しています。

今回の開通により、新型コロナウイルスの影響から回復傾向にある観光振興に寄与することはもちろん、今後、九州中央自動車道が整備され繋がることで、点在する観光地間の周遊性が向上し、広域観光ネットワークの形成が期待されます。

■山都町周辺の高速道路ネットワーク



事業の概要

九州中央自動車道(九州横断自動車道延岡線)は、熊本県上益城郡嘉島町から宮崎県延岡市に至る延長約95kmの国土開発幹線自動車道です。九州のほぼ中央を横断して九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結び、これらと一体となって九州の循環型高速交通ネットワークを形成します。

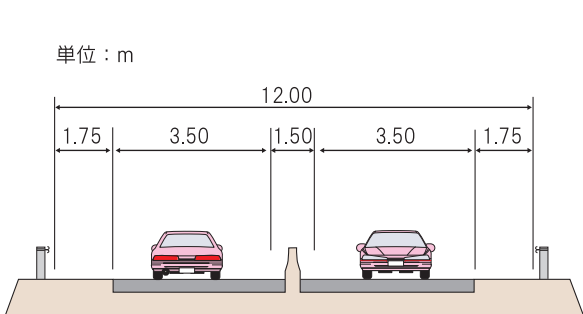
このうち、熊本県上益城郡嘉島町から同郡山都町に至る延長23km区間は、1997年3月8日に整備計画が決定され、1999年度から事業に着手しました。

その後、本区間は2004年1月30日に整備計画を新直轄方式に変更しました。以降、国(直轄)において事業を進め、設計協議、用地買収等を経て、2007年度より工事に着手し、2014年3月22日に嘉島JCT～小池高山IC間1.8kmと、2018年12月16日に小池高山IC～山都中島西IC間10.8kmが開通しました。

計画諸元

道路名称	九州中央自動車道(嘉島JCT～山都通潤橋IC)
事業区間	熊本県上益城郡嘉島町～同郡山都町
通過市町村	熊本県上益城郡嘉島町、同郡益城町、同郡御船町、同郡山都町
延長	延長23km
構造規格	第1種第3級(自動車専用道路)
設計速度	80km/h
車線数	2車線
幅員構成	W=12m [1.75+3.5-1.5-3.5+1.75]

標準断面図



整備の状況

九州中央自動車道の嘉島JCT～山都通潤橋IC(延長23km)のうち、今回、山都中島西IC～山都通潤橋IC(延長10.4km)が2024年2月11日に開通します。



撮影日：2024年1月

祝開通!!

つなぐ九州中央道

E77 九州中央自動車道

山都中島西IC～山都通潤橋IC



国土交通省九州地方整備局 熊本河川国道事務所

住所 〒861-8029 熊本市東区西原1丁目12-1
電話 096-382-1111

HP <https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/>
Mail qsr-kumamoto-kouhou@ki.mlit.go.jp

2024.1

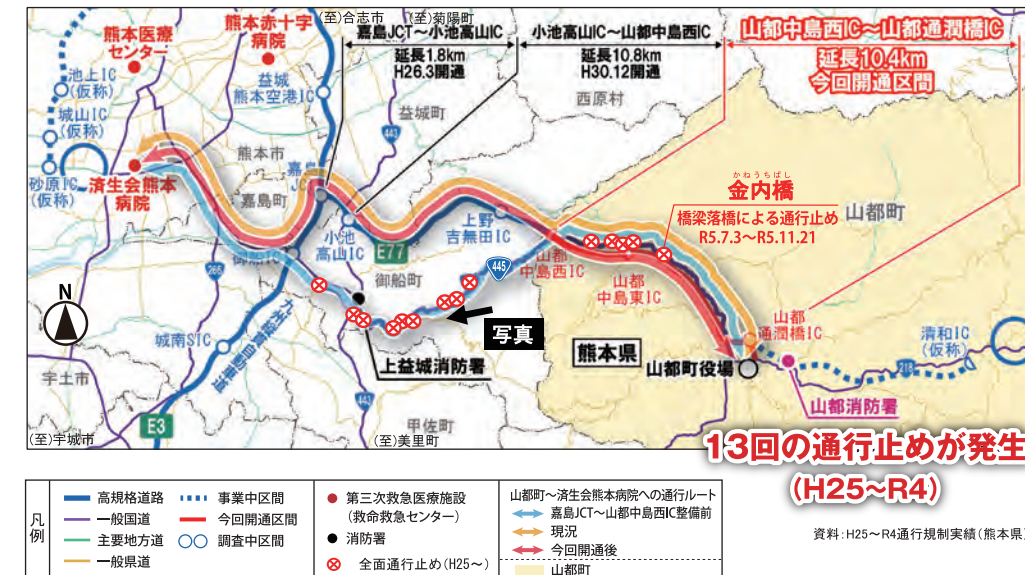
山都中島西IC～山都通潤橋IC

防災力の向上 災害時における信頼性の高い道路ネットワークを構築

今回開通区間に並行する国道445号は災害等により過去10年間(H25～R4)で13回の通行止めが発生しています。令和5年7月には梅雨前線の大雨により、国道445号の「金内橋」が落橋、通行止めとなり、バスを含む大型車は約20分の迂回が生じるなど、熊本市～山都町間の通勤・通学等への影響が生じています。

今回の開通により、平常時・災害時を問わず通行可能となり、信頼性の高い道路ネットワークが構築されます。

■国道445号の通行止め発生状況



安全性の向上 走行性及び交通安全性の向上

今回開通区間に並行する国道445号には線形不良箇所や幅員狭小区間が多数存在しています。そのため、急ブレーキ・急ハンドルの発生率が、既開通区間(嘉島JCT～山都中島西IC間)に比べて約9倍多く発生しており、線形不良等に起因する正面衝突事故の割合は熊本県内国道平均より高くなっています。

今回の開通により、線形不良箇所や幅員狭小区間の回避が可能となり、走行性及び交通安全性の向上が期待されます。

■並行現道(国道445号)の道路状況(御船町辺田見交差点～山都町上寺交差点)



